

すわみつえ通信

No.331 2024年9月16日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

裏金問題で政治不信を招き、行き詰まった自民党政治にNO！

TV・新聞などマスコミが毎日報道している、自民党の総裁選挙に9人が立候補しました。9人のみなさんは自身の政策をいろいろと訴えています。見ていると大変気になる、そして見過ごせない問題があります。それは、岸田総理を退陣に追い込むほど国民の怒りがわきあがった裏金問題について、誰も真相究明すると言っていないことです。

裏金問題をめぐっては、日本ジャーナリスト会議がすぐれた報道を表彰するJCJ大賞に、「しんぶん赤旗」日曜版の一連の裏金問題報道が選ばれました。

裏金問題はそれだけの大事件であり、犯罪の疑いもある問題です。なかったことにはできません。

今までの自民党政治と同じ政治を続ける、その舵取りを誰がするのかを決める総裁選挙であれば、誰が総裁に当選し次の総理大臣に選ばれても、政治の中身は変わらないのではないのでしょうか。

政治を大本から変えて、新しい政治を実現するために日本共産党は全力投球します。どうぞ宜しくお願い致します。

秋山もえさんとおしゃべり会

衆院選挙に挑戦する前・県議会議員(上尾選出)の秋山もえさんが鴻巣でおしゃべり会を開催します。どなたでもご参加いただけます。

日時: 9月21日(土) 午後2時から
会場: カフェ箱庭(エルミこうのす アネックス・中央図書館の前)



塩川鉄也衆議院議員・秋山もえさん わくわく懇談会

皆さんの質問・疑問にわかりやすくお答えします。



日時: 9月23日(月・祝) 午後2時から
会場: 北本市文化センター

9月13日 鴻巣駅自由通路でスタンディング

裏金疑惑徹底究明・ガザ即時停戦・憲法まもれ・選択的夫婦別姓など、を鴻巣駅自由通路で訴えています。(毎週金曜日17:30~18:00実施)どなたでもご参加いただけます。



秋山もえさんもスタンディングに参加=13日

年金者組合鴻巣支部の2024年納涼会・誕生会に参加しました

7・8・9月生まれの組合員の皆さんの誕生日をお祝いし、近況を話し合い元気を出し合う誕生会に今回も参加しました。秋山もえさんのご挨拶がありました。歌あり、ゲームありで楽しいひとときを過ごしました。



誕生会に参加された皆さん 9月15日

秋暑し日本列島「亜熱帯」化

【俳句コーナー】

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。
(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

75歳以上医療費方針 閣議決定 「3割負担」対象拡大検討

政府は9月13日、75歳以上の後期高齢者の医療費窓口3割負担の対象拡大を検討する方針を閣議決定しました。高齢者施策の中長期指針「高齢社会対策大綱」に明記しました。現在75歳以上の窓口負担は原則1割ですが、一定所得があれば2割、現役並み所得の場合は3割です。大綱は、現役並み所得基準の見直しを検討するとしています。政府が昨年閣議決定した「全世代型社会保障改革工程」も2028年度までの窓口負担の引き上げを求めるメニューを示しており、高齢者にさらなる負担を強いるものです。

このほか大綱は、個人型確定拠出年金(iDeCo=イデコ)の加入可能年齢や受給開始年齢の上限引き上げなどを求めています。イデコは掛け金を市場で運用する仕組みですが、運用によっては元本割れで年金額が減るリスクがあり、運用を委託する金融機関への手数料もかかります。年金給付の抑制・削減の仕組みを組み込んだ公的年金だけでは暮らせないことを前提に、私的年金への加入でさらなる自助努力を迫るものです。

75歳以上の高齢者の多くは年金生活者ですが、第2次安倍政権以後の12年間で公的年金は実質7・8%削減されました。一方、介護保険料の引き上げや物価高などが暮らしを直撃しており、敬老の日を前に厳しい生活実態を顧みない自公政権の冷たい施策です。 (しんぶん赤旗 9月14日付)



全国的に深刻な米不足 大本は自民党農政

日本共産党のインターネット番組「とことん共産党」が9月11日夜、「なぜコメ不足？価格高騰？」と題し、ライブ配信されました。農業問題が専門の小松泰信岡山大学名誉教授をゲストに迎え、日本共産党の小池晃書記局長、朝岡晶子さんが司会を務めました。

【小松氏】 米国の要求に応じてコメの生産量を減らす政策が続いてきたと説明しました。「大本で言えばここから始まっている。今回の令和の米騒動(の原因)は、昨日今日の話ではない」と強調しました。また、「何のための『備蓄』なのか。今の政権は本当に国民のことを考えない」と批判しました。

【小池氏】 「猛暑だからと言う以前に、政府が去年も10万トンの生産を人為的に減らしてきた」と応じました。「自民党の総裁選でも、米不足や農政の問題がほとんど取り上げられない」と、自民党農政の行き詰まりを示しました。コメ農家の所得が時給換算で10円になると示した紙智子参院議員の国会質問を紹介すると、小松氏は「調べ直したら本当に10円だった。農水省の統計担当者は何も思わなかったのか」と憤りを語りました。 [【詳しい内容は、日本共産党ホームページからYouTubeで見れます】](#)

司会業にも似て

往年の人気歌番組「ザ・ベストテン」がスタートする際、司会の黒柳徹子さんはスタッフに告げた。「どんな若い歌手の方がいらしても、私は敬語を使おうと思います」。当時テレビ界でアイドルは「ちゃん」付けで呼ばれていた。しかし出演者はいくら若くてもプロである。分け隔てなく大人として丁寧に接すべきだ、と◆政治のリーダーは「司会業」に似ている。批評家の東浩紀さんが雑誌「文藝春秋」最新号でそう語っている。どの世代の声にもしっかりと耳を傾け、上手にテーマを展開させていく。黒柳さんのように、相手を尊重する姿勢も大事な資質だろう◆きのう自民党総裁選が告示された。名乗りを上げた9氏は、さしずめ低迷する視聴率のばん回を期す司会者候補。にぎやかな舌戦は結構なことだが、解散総選挙の思惑もちらつき、肝心の「政治とカネ」の問題をそっこのけでは困る◆チャンネルをかえると、野党第一党も党首選びの真っ最中である。露骨な「裏番組つぶし」でお気の毒だが、まるで再放送のような顔ぶれ。これで視聴率が上がるか、ちょっと心配になる◆黒柳さんの「ザ・ベストテン」は売り上げやリクエスト数など「実力」で順位を決めたところに人気の秘密があった。派閥のしがらみがないという総裁選なら、ぜひ実力本位でと、党员ならずとも願いたい。

【佐賀新聞 9月13日付 コラム「有明抄」】